

科目名（担当教員）	ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ（田村 輝之）
テーマ	さまざまな「人間行動」を考える
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的」に考え、「人」を大切にする姿勢の人であること。</li> <li>・2018年度【後期】開講科目の「経営情報論Ⅰ」を履修していると、データ分析などをより深く理解することができます。</li> </ul>
テキスト・参考文献	ゼミにおいて、随時指示します。

#### ◇ゼミ研究内容

本ゼミでは、「行動経済学」、「実験経済学」などのアプローチを用いて、さまざまな人間行動を考察していきます。研究内容は、各自で設定したテーマに基づいて、主体的に研究を進めていきます。行動経済学の研究対象は広く、例えば、ダイエットや禁酒・禁煙におけるセルフ・コントロール（自己規制）、投資家行動・心理を学ぶ行動ファイナンス、人生の幸せを考える幸福研究、などの多様なテーマが挙げられます。ゼミでは、各自が「なぜ？」と思う人間行動について、その本質的な理由を追及していきます。「人」や「人生」について考えることが好きな人は、ぜひ参加してください。

#### ◇ゼミ運営方法（ゼミ修了時に求める学生の理解・達成度）

各自が設定したテーマ別に、3～5人のチームを作り、チームごとの研究、報告を行っていきます。「チーム」で行う作業は、社会に出てからもとても重要であり、自分の役割の遂行だけでなく、他のメンバーをフォローしていくことも大切になります。ぜひ、チームの運営方法についても学んでください。

また、学外との交流の機会として、NPOや他大学との合同ゼミを予定しております。NPOの方々との交流では、「課題解決型学習」に基づいて、現場を視察し、課題を見つけ、その解決策を模索していきます。

#### ◇ゼミ運営計画

	運営内容・ゼミナール特別活動	参考文献・課題など
ゼミナールⅠ (1回生後期)	「行動経済学」のテキストを学び、各自がテーマを選択します。また、アンケートなどのデータ分析の手法も学びます。学外（NPOや他大学）との交流は、1回生よりはじまります。	適宜提示します。
ゼミナールⅡ (2回生前期)	テーマ別に、適切な調査方法を実施していきます。例えば、アンケート調査が必要な場合には、アンケートを作成し、アンケート調査を行います。	適宜提示します。
ゼミナールⅢ (2回生後期)	卒業研究に向けて、これまで行ってきた研究の成果をまとめます。また、ゼミの1回生や他大学の学生にも報告を行い、自分の考えを相手に正確に簡潔に伝えるプレゼンテーションのスキルも培います。	適宜提示します。

#### ◇その他コメント（自己紹介とゼミ生への要望など）

高校生の頃に、将来の進路はどのような形でも「教育関係」に進もうと考えていました。私自身は、本質的に「人」が好きであり、学生のみなさんが成長していく姿を見ると本当に嬉しくなります。人生は、長いようで短く、短いようで長いです。どんな人にも、良い時、悪い時があります。周囲の人との比較や雑音に流されず、「自分自身の成長」に焦点を当てると、人生をシンプルに生きることができます（※私自身の考えです）。みなさん1人1人の成長を、心より応援しております。